

## 第 19 回 江戸川区廃棄物減量等推進審議会 議事録

開 催 日 平成 18 年 1 月 20 日 ( 金 )

会 場 江戸川区民センター ( グリーンパレス ) 2 階 高砂の間

議 題 ( 1 ) Edogawa ごみダイエットプラン ( 案 ) ( 一般廃棄物処理基本計画 ) について

( 2 ) その他 ( 質疑、意見交換等 )

江戸川区廃棄物減量等推進審議会事務局  
( 江戸川区環境防災部清掃計画課 )

【事務局（深津課長）】

おはようございます。本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

開催に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきます。机上に配付しております資料ですが、本審議会の次第と、前回の議事録となっています。また、事前資料といたしまして「Edogawa ごみダイエットプラン（案）（一般廃棄物処理基本計画）」の修正版を郵送させていただきました。こちらは本日ご持参いただくようお願いしております。以上本日の資料につきましてご確認をお願いいたします。お手元にもれのある場合は事務局にお声をおかけいただければと思います。

また本日、松田美夜子副会長、牧野亨介委員、星野則久委員におかれましてはご都合がつかないということでご欠席でございます。ご了承をお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、事務局の原環境防災部長よりご挨拶を申し上げます。

【事務局（原部長）】

おはようございます。ものすごく寒い中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

前回 12 月の審議会でご審議をいただきました「Edogawa ごみダイエットプラン」について委員の皆さんからいろいろとご意見をいただきました。これを受けまして、改めて事務局で内容を見直しいたしました。そしてお手元にある修正版としてまとめたものでございます。本日はこの修正版をお読みになって、委員の皆さんが改めてお感じになったこと、ご感想などをお聞かせいただければと考えております。また、この計画の議論になります。今回は最後ということになります。

短時間ではございますがどうぞよろしく願いいたします。

それでは岡島会長、よろしく願いいたします。

【岡島会長】

それでは、ただいまから第 19 回の江戸川区廃棄物減量等推進審議会を開会いたします。

先ほど部長からもお話があったように主な目的は「ごみダイエットプラン」に対するご意見ということでございます。松田副会長からは「よくできました」ということではなまるがついているようです。また部長から文章上 2、3 箇所重複があるということをお聞きしました。そのようなことを念頭におきまして、前回 12 月にいろいろとご意見が出ましたから柳澤さんから順番に読んだ感想、気になる点をお話していただきます。そして皆さんのご意見を聞いているうち

に何か思い出されたら再度お聞きいたします。また区議会議員のお二人の方は区民と同時に、議会の立場からもご意見をいただければ幸いです。

それでは柳澤さんからお願いいたします。

【柳澤委員】

まず一番気になったのは前回は指摘しました 42 ページのグラフです。例えば右側の縦軸の排出原単位が 500 から始まっています。やはり 0 から始まるほうがいいと思います。それから二本の太い横線が引かれていて、排出原単位の太い線と排出量の太い線だと思いますがこの関係性がよくわからないのでグラフを二つに分けたほうがいいと思います。

それから言葉についてですが、誰が行うのか、つまり主語が誰かがわかりません。区がおこなうのか、区民が行うのかが文章を読んでいてはっきりしないのが数ヶ所ありました。

あと「削減」と「縮減」などが同じ意味で使われているので直していただければと思います。

以上です。

【岡島会長】

ありがとうございました。

野淵さん、お願いいたします。

【野淵委員】

先ほど部長さんがお話されたように、今回がこの計画の最後の議論になるということで、直せるかどうかは別として読んで気づいた点をお話いたします。

前にも申し上げましたが、減量目標の 20% という表記です。42 ページの中で平成 33 年度の総排出量で 20% (平成 12 年度比) となっていますが、29 ページでは国の循環型社会形成推進基本計画が 20% 削減 (平成 22 年度) となっています。また 77 ページでは平成 12 年度比でごみ減量 20% を削減することを目標としていますという表記があります。これらの文章の整合性が気になります。

それから先ほどの 42 ページでは排出原単位が平成 23 年度比で 25% 減量になっていますが、18 ページでは平成 12 年度の排出原単位が 1,047 g / 人・日になっています。この数値の 25% 減量になりますと 785 g / 人・日になります。そうしますと 42 ページの排出原単位のポイントがもう少し上がると思います。排出原単位が下がるということは排出量が下がることから計算によっては平成 23 年度で約 80% の達成率になるのではないかと思います。

続いて 14 ページの図ですが、資源ごみの中間処理が記載されておられません。

続いて 18 ページですが、「平成 10 年以前と比べれば」という記載がありますが、グラフから「平成 12 年と比べれば」という表記にしたほうがいいと思います。

続いて 20 ページですが、8 行目に「ごみは増加傾向にあります」という記載がありますが、18 ページの記載から「横ばい」という表記がいいと思います。

続いて 26 ページでは処理原価を「平成 13 年度と比べると」という表記ですが、データがあれば平成 12 年度と比べたほうがいいと思います。

続いて 27 ページですが、上の表の数字と下の表の合計した数字が平成 14 年度から平成 16 年度のもものが 1 ずつ違っていています。この整合性をあわせたほうがいいと思います。

続いて 28 ページですが、平成 15 年度のペットボトルの処理原価の数値が 26 ページでは平成 16 年度の処理原価の数値になっていますので訂正してほしいと思います。

30 ページでは「プラスチックは不燃ごみの約 60%を占めており、その約 8割が容器包装プラスチックです」と記載されていてその数字は約 48%になりますが、19 ページの 3 行目では「不燃ごみのうち容器包装プラスチックは約 40%」と記載されています。ここでの整合性が合わないと思います。

続いて 33 ページは先ほど柳澤委員がご指摘されたように「削減」と「縮減」の表記を統一したほうがいいと思います。

全般的に N P O 法人えどがわエコセンターを略してエコセンターと表記されている部分がありますが、最初の表記で「N P O 法人えどがわエコセンター(以降、エコセンターという)」表記にしたほうがいいと思います。

他にもいろいろ気づいた点がありますが、時間もありませんのでこのくらいにいたします。

#### 【岡島会長】

今の質問は後ほど事務局にお答えいただいて、時間がなければ文書で提出していただければと思います。大変丁寧にお読みいただきありがとうございます。おそらく誤った表記がたくさんあったことと思います。また読み方の違いで意図が正しく伝わっていない部分もあると思います。

それでは都丸さん、お願いいたします。

#### 【都丸委員】

16 ページにごみの分別排出基準を示した表がありますが、私がこのところ考えていたのは資源回収の対象品目に「古紙」がありますが、前々回の審議会で雑誌に挟んで紙箱類は出すという話を始めて伺いました。現実に雑誌等がなければこれらがすべて可燃ごみになってしまうのかと思っていました。各家庭でこれらの紙箱類がきちんと資源回収に出されるかを考えなければいけないので、今後はこれらの資源を出す場所を確保することが大事だと思いました。

以上です。

#### 【岡島会長】

ありがとうございました。

続きまして松川さん、お願いいたします。

【松川委員】

私も何回か読みましたが、以前のリサイクル推進計画等検討部会の中でいろいろな施策についてそれぞれの意見を言わせていただきました。その意見がこの計画書に組み込まれているということに感謝いたします。

言葉について一つ言わせていただくと、10ページの真ん中あたりに「職住近接型の快適な地域社会の基盤づくり」という言葉がありますが、私の活動している団体では江戸川区を「職・住・遊・学 近接のまち」というPRをさせていただいております。そのため「遊・学」を入れたほうがいいと思いました。

あと柳澤さんをご指摘されたように、グラフが見つらいのが多々あると思いました。私たちのようにグラフを見慣れていない人は単純なものはわかりますが、複数の項目が重なっているものは理解しにくいので直していただければと思います。

そして74ページの「おわりに」というところはとてもよい文章だと思いました。江戸川区らしさを強調していて、何を実現するにも子ども会、自治会などの地域力を活用することが大切であることが記載されていて素晴らしいと思いました。

以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続きまして岡部さん、お願いいたします。

【岡部委員】

私はおおむねよくできていると思いました。

あと私たち町会単位で行っている集団回収団体がもっと増えると思っていましたがあまり増えていません。この計画書の中に集団回収をPRする文章を入れていただければと思いました。

以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続いて田口さん、お願いいたします。

【田口委員】

私はすごくよくできていると思います。全体的に同じことが繰り返し出てきているところは直したほうがいいと思いました。

それからリサイクルするためには質のよいものをどのようにして集めるか、二次公害をいかに出さないかを実際に行動する場合には考えなければいけない

と思われました。

以上です。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続いて牧野さん、お願いいたします。

【牧野恵一委員】

廃プラスチックのリサイクルについてはより実行性の高いものになっていると思われました。

あと以前にもお話ししましたが、文章として「区民・事業者・行政が一体となって」という表現が所々に表記されています。それだけみんなが一体となって実行しないとこのプランは達成できないという印象を受けました。

以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続いて松本さん、お願いいたします。

【松本委員】

前回の審議会でもお話ししましたが、おおむねよくできていると思います。できるだけビジュアル的なものを取り入れて目にアピールするというのも努力のあとが見られますが、読んだ後に印象に残りません。これは田口委員もご指摘されましたが同じことを繰り返し表記されていることと、具体性があるようでありありません。

あと8ページを見ますと江戸川区の20年の基本構想、10年の基本計画が記載されています。これと重ねて考えますと、平成18年度から平成33年度までで20%のごみ減量となっています。そして基本計画の10年目が終わる平成23年度を短期目標年度としていますがここでの具体性がありません。これは一つの提案ですが、平成23年度までにこれらのことを重点的に行うという書き方をしていただくとアピール度が上がると思います。

文章として大事なところはアンダーラインを引いていただいて、目にもっとアピールするという表記にしていただければと思います。

しかし、おおむねよくできているという意見には賛成でございます。

以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続いて杉本さん、お願いいたします。

【杉本委員】

読んだ感想は「これは大変だぞ」と思いました。私の関係する商店街につい

ではこの計画書の意味をお店一軒一軒にわかってもらわないといけません。分別一つにしても、リサイクルできるものにしてもすべてのお店の方に理解していただく必要があります。この計画書のダイジェスト版をつくっていただいて、すべてのお店に配りたいと思いました。私も一生懸命に取り組まなければいけないと感じました。

以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続いて稲宮さん、お願いいたします。

【稲宮委員】

前回の審議会でも質問させていただきましたが、プラスチックを最終的に燃やすことになっていることに私は納得できないところがあります。今国では容器包装リサイクル法の改正についての議論が終盤に差し掛かっていますが、拡大生産者責任というところが中間まとめのときよりは難しい状況になっています。やはり廃棄物を減らすことからいけばどうしても必要なことだと思えますが、区長会で燃やすことに至った経緯が理解できません。私も働きかけていきたいと思っています。田口さんが先ほど言われましたが、リサイクルするには質のよいものでなければいけませんので、生産の段階でリサイクルのことを産業界の中で考えていかなければいけません。昔ながらのびんを再使用するようなりユースなど、先に行うべきことがあるのではないかと思います。

この計画書についてはグラフが見つらいということには私も同感です。あと20%減量について具体的な実行策が盛り込まれるといいと思います。

以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

続いて片山さん、お願いいたします。

【片山委員】

具体的な目標が表記される必要があると思いました。

あと29ページ、63ページに出てきますが、家庭系ごみ対策についての検討で具体的な目標年度や目標数値が記載されていると説得力があると思いました。全体的にはよくできていると思います。

以上でございます。

【岡島会長】

ありがとうございました。

皆さんにご意見をいただきました。いろいろなご意見が出ましたが、20%減量については皆さんのご評価をいただけたと思います。そしてこのダイエット

プランがどのようにアクションプランにつながるかという実践計画を入れていく必要があるというご指摘だったと思います。

整理の都合上、柳澤さんと野淵さんの指摘された点について事務局からご説明いただきたいと思います。説明できるところもあるでしょうし、訂正しないといけない部分もあると思います。簡潔にお答えください。

【事務局（深津課長）】

減量目標の数値ですが、国の 20%と私たちの 20%と排出原単位の 25%の数値が出てきていると思います。ごみ減量目標の 20%は国の方針もございまして、私どものほうも違いはありません。ただ一人あたりの排出原単位で 20%減量しましても、人口の増加を加味するとごみ 20%減量は達成できないので平成 23 年度までに原単位で 25%の減量を目指したいということです。

【岡島会長】

それでは 29 ページと 42 ページのところで平成 22 年度の目標と平成 23 年度の目標が統一されていないのはなぜかを教えてください。

【事務局（深津課長）】

29 ページの平成 22 年度の目標は国の目標年度になります。江戸川区は人口増がありますので平成 33 年度を目標年度としております。

【岡島会長】

続いて 77 ページの資料についてはいかがですか。

【事務局（深津課長）】

こちらも国の審議会の答申を記載させていただきました。

【岡島会長】

私もメモを取っていますのでそれに沿ってお答えください。

42 ページの排出原単位のグラフのポイントが上がるのではないかとご指摘はいかがですか。

【事務局（深津課長）】

すいません。ただいま細かいデータを持っていませんのでお答えできません。

【岡島会長】

それでは後で野淵さんに回答してください。

続いて 14 ページの資源ごみの中間処理についての記述についてはいかがですか。

【事務局（深津課長）】

清掃工場で燃やしているものも中間処理という言い方をしておりますので、その部分で資源ごみに限定できていませんのでこのような書き方でございます。

【岡島会長】

18 ページの記述で「平成 10 年以前と比べれば」という表記をグラフとあわ

せて平成 12 年度にするというご指摘についてはいかがですか。

【事務局（深津課長）】

こちらはわかりやすい表記にしたいと思います。

【岡島会長】

続いて 20 ページで「ごみは増加傾向」という表記ですが、横ばいではないかというご指摘についてはいかがですか。

【事務局（深津課長）】

減少傾向ではないので、場合によっては「横ばい、もしくは増加傾向」という表記にしたいと思います。

【岡島会長】

続いて 26 ページのごみ事業費と処理原価のところ「平成 13 年度と比べて」という表記を平成 12 年度にしたほうがいいというご指摘についてはいかがですか。

【事務局（深津課長）】

そのように直したいと思います。

【岡島会長】

続いて 27 ページの上の表と下の表とで数値が一つずつ違うことについてはいかがですか。

【事務局（深津課長）】

これは億単位で切っておりますので四捨五入の関係で数字の誤差が出ています。表記については検討させていただきたいと思います。

【岡島会長】

続いて 26 ページと 28 ページのペットボトルの数値が違うというご指摘はいかがですか。

【事務局（深津課長）】

ここについては確認させていただきます。

【岡島会長】

続いて 19 ページと 30 ページの容器包装プラスチックの割合の数値の違いについてはいかがですか。

【事務局（深津課長）】

ここも確認した上で直させていただきます。

それからエコセンターの表記についてもご指摘のとおり直させていただきます。

【岡島会長】

事実関係で細かいところをお答えいただきました。野淵さんのほうでもう少しご指摘がございましたら事務局にお伝えください。

今課長からの説明があってわかった訳ですから、説明がなくてもわかるような文章にしていただければと思います。

次に多かったのが繰り返しの文言があるということですね。この辺は会長、副会長、事務局に預らせていただいて文章を削りたいと思います。田口さん、松本さんのご指摘のとおりだと思います。

それから「削減」と「縮減」の言葉も統一したほうがいいと思います。文章のながれで言葉を変えたほうがいい場合もあると思いますが、形容詞をつけるなどしてわかりやすい文章にしていただければと思います。

その次にグラフがわかりづらいというご指摘でした。これも二つに分けるなどの工夫をしてください。繰り返しの文章を削った分だけグラフを入れていただければと思います。

それから柳澤さんの主語が区民か区かというご指摘ですが、日本語の場合、読み手によって受け取り方が違います。主語を入れられるものにはできるだけ入れていただいて、特に誤解を受けそうなところは明確に主語を入れていただければ誤解を招かないと思いますのでよろしく願いいたします。

松本さんからもご指摘がありましたが、このダイエットプランは基本計画のようなものだと思います。これに対する実践計画が盛り込まれていません。そこで絵などがたくさん入ったごみダイエットプランのダイジェスト版及びアクションプランを作っていただければと思います。必要であれば審議会で討議してもいいし、部会をつくってダイジェスト版やアクションプランを作成していくのもいいと思います。いずれにしろ、都丸さんのご指摘のとおり、ダイエットプランを受けていかに実践していくかという説明をしたほうがいいと思います。手段は事務局にお任せします。

感想といたしましては、この審議会委員の方々是一般の区民よりはこれらの文章を読む機会があると思います。杉本さんのご感想のとおり、一般の区民は読まないかもしれませぬ。熱心な人はこれでは足りないと思うかもしれませんが、一般の区民からするとこれを実践することは大変だと思います。これが大変なことだということをご一般の区民の方にわかっていただかなければいけません。この1年間くらいで啓蒙作戦に予算をさいていただかないといけませんし、牧野さんや田口さんのような業界の方たちにもご協力いただかないといけません。やはりわかりやすいダイジェスト版を作成して今日ご出席されている委員のまわりにいる方たちに伝えていただかないと実践では難しくなると思います。

ぜひ区役所には普及、啓蒙活動に力を入れていただきたい。そしてアクションプランの3年計画、5年計画というものを区役所のほうでつくっていただくと、このダイエットプランが生きてくると思います。私としてはそのような感

想を持ちました。

他に思い出したことがありましたらお願いいたします。

それでは野淵さん、お願いいたします。

【野淵委員】

全般的にはよくできていると思います。先ほどいろいろと申しましたが、重箱の隅をつついてはいるわけではありません。これが一般に出ていくものですから気がついた点をお話しました。

先ほど話していないところで 30 ページに用語の説明がありますが、マテリアルリサイクルのところで「材料そのものをリサイクルことです」という表記は「リサイクルすることです」に直していただければと思います。

続いて 54 ページですが、真ん中のあたりに「溶融施設での焼却灰のスラグ化による」という表記は一般的にわかりづらいので、これは「焼却灰を溶融施設でスラグ化する」という表記にしたほうがわかりやすいと思います。

それから 82 ページですが、81 ページに東京二十三区清掃一部事務組合の一般廃棄物処理基本計画がありますが、突然 82 ページでは江戸川区の地域特性が記載されています。ここは江戸川区の表題を入れておかないとつながらないと思いました。

あと 85 ページですが、第 2 章実態分析、1) 収集搬入の実態についてはいつのデータなのかわからないので年月日を入れたほうが良いと思います。

続いて 86 ページですが、2) ごみ量とごみ質のところでごみ量の表には単位を入れたほうが良いと思います。

あと 88 ページですが、江戸川区のグラフが 18 ページのものより低く記載されていると思います。

この辺を直していただければと思いました。

【岡島会長】

ありがとうございました。

メモリの違いなど間違いがあるものですね。

他にはいかがでしょうか。それでは柳澤さん、お願いいたします。

【柳澤委員】

40 ページのリデュース・リユース対策の区民のところで「ごみの発生や環境への付加」という表記は「環境への負荷」という表記が正しいと思います。その後の「自らは不用となった」という表記は「不要となった」という表記が正しいと思います。

あと 54 ページの上から 3 行目「清掃事業が区に移管して以降」という表記は「移管されて以降」という表記が正しいと思います。

【岡島会長】

わかりました。今のような文章の訂正は紙に書いて事務局に出してください。

【柳澤委員】

あと 66 ページの上から 7 行目「減量努力をしている人と努力をしていない人のごみの排出量の差は明らかであり」という表記ですが、これはデータがあるのでしょうか。

【事務局（酒井係長）】

こちらは過去にリサイクル実践モニターを審議会のご提言で実践しましたが、そちらのモニターさんの 1 年間の取り組みについてアンケートを取りましたところ、明らかに生ごみの減量を実践している方は生ごみ以外にも全体的なごみの排出量が減ったという回答を得ました。やはり努力をされている方と努力をされていない方との差が明確に出てきました。

【岡島会長】

一般的にみてもそうだと思います。ここは「モニターの方のアンケートから」という表記を付け加えたほうがいいと思います。

【事務局（酒井係長）】

あとご指摘がありました 54 ページの「不用」という表記ですが、ごみに出すという意味では「不要」ですが、再利用を推進する立場でつかう場合は「不用」という表記をつかいます。

【岡島会長】

他はいかがでしょうか。

全体的なところでは何かありませんか。全体的には皆さんはおおむねよろしいということでしたね。

それでは議会の立場からはいかがでしょうか、片山さん、稲宮さん。何かご感想があればお願いいたします。

【片山委員】

環境問題については委員会でも今後取り上げていきたいと思います。

【岡島会長】

お願いいたします。役所と議会のほうで実践していただきたいと思います。

稲宮さん。区長会の話は別途部長や私どもを通じて区長のほうにお話を申し上げますし、議会のほうでも対応していただければと思います。このダイエットプランについては何かございますか。

【稲宮委員】

こだわるようですが、30 ページにマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルの表記がありますが、3 行目に「優先順位と施策評価を明確にした上で導入の判断を行う必要があります」ということですので、この計画では廃プラスチックのリサイクルについては検討段階という認識でよろしいのでしょうか。

【事務局（深津課長）】

区長会のほうも含めまして、廃プラスチックにつきましてはまずは発生抑制、次がマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、それでもできないものはサーマルリサイクルで熱として回収をする考えです。

【岡島会長】

だから今は「やろう」ということではなく、前の段階でうまくいけば燃やさないで済むのかというご質問です。

【事務局（深津課長）】

前回の審議会でもお示ししましたが、廃プラスチックはマテリアルリサイクルできるものはできる方向で考えております。

【岡島会長】

結論としてはどうしても燃やさないといけないものは燃やそうということになるということですね。現実には燃やすまでには努力の余地があり、各自治体の競争ということになります。皆さんがリサイクルのシステムに協力すればいいところも出てきます。例えば燃やす量が減ります。そのあたりは状況に応じてということですよ。

稲宮さんの立場からは何とか燃やさないでその前の段階でくい止めるということをご自身の団体で区民に訴えていただければいいと思います。みんなが頑張れば燃やさずに済むかもしれません。基本的にはすべての廃プラスチックを燃やすのではなくて、マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルをまず行っていくという順位ということですよ。

区長さんの中でも詳しい人と詳しくない人もいます。そのところは各区の清掃主管部局が状況を踏まえて実施していくということだと思いますので、江戸川区は頑張れるという意識まで区民を引き上げる必要があります。結果としては23区の競争だと思います。おそらく現在の状況ではダメだということですよ。今の皆さんのごみの捨て方を見ているとやりきれませんので、それを改革することを前提とすると話は変わってきます。現在の区長会の話が私が推測するところ、今の状況ではどんどん捨てているのでとても無理ということだと思います。それを分別する方法を区民が協力して実績が上がれば区長会の議論も変わってくるかもしれません。これは我々審議会委員及びバックにいる区民と協力しながらより良い方向にもっていく必要があります。

いずれにしろ、努力すべき部分はかなり大きいということだと思います。江戸川区はその中でも燃やす量を減らしていこうということになります。各区、他の市、他県などと比べてみても、江戸川区のようにエコセンター、商店街、自治会、業者界などがいっしょになって協力するということは少ないです。私も実際に杉本さんと商店街に行ったこともあります。エコセンターについ

ても全然理解されていません。やはり砂漠に水をまくように少しずつやってみていくしかありません。そしてある程度までくれば話は変わってくるので、審議会委員の方々も今日で終わりではなくて、これから区が実施するさまざまな施策について代表者として窓口となってご協力いただければと思います。

それではこの議論は終わりにしまして、さらに思い出したことがありましたら直接事務局のほうにお伝えください。柳澤さん、野淵さん、また細かいことを見つけましたらぜひ事務局にお伝えください。今日でこれだけ見つかったので、またみんなで読み返せばかなり見つかるかもしれません。当事者にはわからない部分があります。

今日の議題についてですが、その他に何かありますか。

【事務局（深津課長）】

ありません。

【岡島会長】

実は副会長の松田さんが私に何回かおっしゃったことですが、「区役所はよくやった」と言っています。いい加減に済ますところが多い中で、江戸川区には若手を中心として中核になって頑張ってくれる方々がいるのでありがたかったというコメントはいただいておりますのでここで区役所の担当の方々にもお礼を申し上げたいと思います。

また皆さんも委員として本当に活発なご意見を出していただきました。ありがとうございました。

この議題は今日で終わりにしまして、連絡事項等がありましたらよろしくお願いいたします。

【事務局（深津課長）】

ありがとうございました。先ほど会長にもまとめていただいた点を事務局で整理しまして、会長、副会長とご相談をさせていただきまめたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それから1年間にわたりごみダイエットプランのご審議をいただきありがとうございました。今後も審議会は続きますのでいろいろとご指導いただければと思います。

あと本日お配りしております前回の議事録ですが、いつもと同様、ご確認いただきまして訂正がなければこのままホームページに掲載したいと思います。訂正等がある場合は1月27日（金）までに事務局までご連絡ください。

次回の審議会でございますが4月下旬ごろに開催したいと考えております。こちらにつきましては日程が決まり次第、ご連絡をさせていただきます。

それからエコセンターのほうから皆さんにお配りしたい資料があるそうなので、審議会が終わりましたらお配りいただきますのでよろしくお願いいたしま

す。私のほうから以上でございます。

【岡島会長】

松本さんからお話があるそうです。

【松本委員】

私はこのごみダイエットプランのダイジェスト版をぜひ作ってもらいたいと思います。と申しますのは平成 14 年度に作成されました江戸川区長期計画にダイジェスト版が付いていました。この時は本編の冊子はほとんど読まずにダイジェスト版を読んでいました。つまり一般の方々に一番理解していただかないといけませんのでそういうダイジェスト版をぜひ作っていただきたいと思いません。

以上です。

【岡島会長】

ありがとうございました。

他に今のようなご提言はございますか。(発言者なし)

ご発言がないようでしたら今日はこれで終わりたいと思います。どうもご苦勞様でした。ありがとうございました。